

公益社団法人東京都臨床検査技師会
会員各位

東京糖尿病療養指導士認定機構
代表幹事 菅原 正弘



東京糖尿病療養指導士(東京 CDE)受験のご案内

糖尿病は要介護の原因である脳卒中、認知症、転倒・骨折、関節疾患のすべてに関連し、健康寿命を著しく短縮させる疾患です。また、網膜症、神経障害、腎症、歯周病、骨粗鬆症、過活動膀胱など多くの合併症を引き起こす疾患でもあり、チーム医療、多職種連携が必要となる代表疾患です。その対策として、東京近隣の糖尿病患者やその予備群の方を多職種でサポートする体制を構築するために東京糖尿病療養指導士認定機構では東京糖尿病療養指導士と東京糖尿病療養支援士の2つの資格の研修と認定を行っております。

糖尿病に関する知識を身に着け、認定資格を得ることは、日常のお仕事の場で様々な形で生きてくるとともに、専門職としてのスキルアップにも役立つものと考えられます。

講習会受講と認定試験を経て認定される東京糖尿病療養指導士(東京 CDE)は、東京都内に在住又は在勤で臨床検査技師の資格を有する方が受験対象となります。

9～10月に受験者用講習会、11～12月に認定試験を予定しており、7月から8月末までお申込みの受付をしております。詳しくはホームページにてご確認ください。

認定者には、継続的な学習機会が提供されるとともに、認定証とバッジが授与されます。

より良い糖尿病医療の担い手として、継続的なスキルアップの手段として、東京糖尿病療養指導士(東京 CDE)の制度を是非ご利用いただきますようご案内申し上げます。

2023年7月

◎認定制度に関する詳細は下記ホームページをご覧ください。

東京糖尿病療養指導士認定機構 <https://cde.tokyo>

◎本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

東京糖尿病療養指導士認定機構 事務局：(株)創新社 東京都港区西新橋 2-8-11

TEL:03-5521-2881 FAX:03-5521-2883 e-mail:office@cde.tokyo



東京糖尿病療養指導士・東京糖尿病療養支援士 認定試験のご案内

糖尿病患者・予備群2,000万人時代の社会インフラとして、
糖尿病について高いレベルの見識を有する専門職を目指します。

東京糖尿病療養指導士
東京CDE

東京糖尿病療養支援士
東京CDS



毎年7月から申し込み開始

※詳しくはHPをご確認下さい。

東京糖尿病療養指導士認定機構
Tokyo Certification Board for Diabetes Educator

一般社団法人
東京糖尿病療養指導推進機構

はじめに

糖尿病患者と予備群2,000万人時代の今、その発症予防、重症化防止にはこれまでのような医療機関だけの対応では十分といえません。

医療施設で働く医療スタッフの方々に加え、治療中断患者や予備群の方々をフォローする健診機関や保健指導を行う専門職の方、薬局や介護施設で働く専門職の方々まで参加した幅広い支援体制が求められています。

東京糖尿病療養指導士と東京糖尿病療養支援士は、それぞれの分野の専門職の方が糖尿病の病態と療養に関する専門知識を修得し、糖尿病とその予備群の方々をサポートするための認定資格です。



東京糖尿病療養指導士：東京CDEとは

主として医療現場における糖尿病患者さんの指導にあたる専門職で、糖尿病の病態、治療に関する高度な知識を修得し、当機構の受験前講習に参加、認定試験に合格した医療職等の有資格者。

内科以外の領域でも糖尿病患者さんへの対応が求められている現在、糖尿病に関する実践的な知識の習得の場として、また、チーム医療の中で重要な役割を果たす、キーマンの養成にご活用ください。

受験資格

受験時に、東京都に勤務あるいは居住し、下記に該当する資格を有するもの。

看護師、保健師、助産師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、診療放射線技師、准看護師、健康運動指導士 他

※その他の受験対象資格については、ホームページでご確認ください。

資格更新

3年間で1群(10単位)の研修を1回以上受講することに加え、1群、2群の研修合わせて合計30単位を取得すること。

研修の種類

・1群：スキルアップ研修会(1日、10単位)

- ※毎年1回東京CDE、東京CDSで開催
- <主な内容(予定)>
- ・糖尿病治療に関する最新情報、主なトピックのアップデート
- ・現場で役に立つ実践的な講演(フットケアなど)
- ・多職種間でのグループディスカッション

東京糖尿病療養支援士：東京CDSとは

主として健康増進や福祉、介護などの幅広い職域において糖尿病予備群や一般生活者を対象に、糖尿病の知識の啓発と予防にあたる専門職で、糖尿病の病態、治療に関する一定レベルの知識を修得し、当機構の受験者講習に参加、認定試験に合格した専門職有資格者。

健康増進や介護の場でも、糖尿病やその予備群の存在が目立つ時代です。糖尿病についての専門知識を有するスタッフの存在が、よりよいケアや思わぬ事故やトラブルの防止に役立ちます。職場に一人、チームに一人、頼りになる人材育成にご活用ください。

受験資格

受験時に、東京都に勤務あるいは居住し、下記に該当する資格を有するもの。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、介護支援専門員(ケアマネジャー)、歯科衛生士、栄養士、臨床心理士、医薬品登録販売者、養護教諭、自治体職員(保健、健康増進担当)、医療事務、医薬情報担当者(MR) 他

※その他の受験対象資格については、ホームページでご確認ください。

資格更新

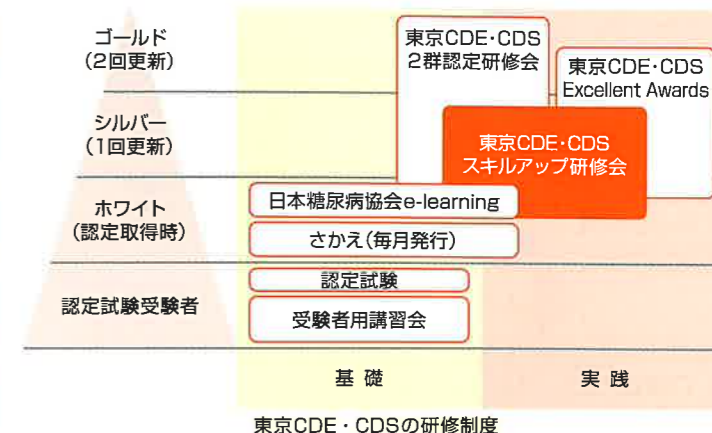
3年間で1群(10単位)の研修を1回以上受講することに加え、1群、2群の研修合わせて合計20単位を取得すること。

・2群：その他の研修会(1～3単位※個別に設定)

- 後援団体の開催する研修会
- 都内近郊で開催される糖尿病関連研修会
- ※ともに東京糖尿病療養指導士認定機構の更新研修委員会が認定したもの(詳しくはHPにてご確認ください)

認定資格取得者のメリット・研修制度

1. 糖尿病の病態と療養に関する体系的な知識が修得できる
2. 糖尿病の治療と療養に関する知識を修得していることが、専門資格として認定される
3. 職域において、糖尿病療養の指導・支援資格取得者として認められる
4. 糖尿病療養の指導・支援者としての信頼が得られ、指導・支援に自信が持てる
5. 職域に認定資格者がいることで、糖尿病や予備群への対応が向上できる



施設責任者の方へ スタッフのスキルアップにご活用ください



病院、クリニックなど

あらゆる診療科、すべての医療機関にとって、増加する糖尿病患者さんの存在は無視できないのが現状です。医療スタッフの糖尿病に関する再教育、継続的な教育のための機会としてご活用ください。



介護施設、老健施設など

高齢者の中には、糖尿病の患者さんやその予備群の方が多く含まれています。より良い介護や、思わぬ事故やトラブルを防ぐためにも、糖尿病に詳しいスタッフが求められています。



行政、健康増進施設など

健康啓発を進める行政や健康増進施設における担当者にとって、より効果的に、事故を起こさず指導を行うために、糖尿病についての理解は欠かせないものです。



健診機関、保健指導機関、健保組合など

糖尿病の重症化予防と糖尿病腎症の予防は、保健指導の分野でも最優先の事項です。最新の糖尿病の病態と療養について、改めて学び、スキルアップする機会としてご活用ください。



薬局、ドラッグストアなど

健康サポート薬局や検体測定室の開設など、薬局、ドラッグストアなどにおける薬剤師や登録販売者にとって、糖尿病に関する知識はこれまで以上に重要なものとなっています。

認定特典

認定取得により下記のような特典が得られます。 ※詳しくはHPにてご確認ください。

① 認定証(賞状)の発行

② 認定バッチの発行



③ 認定グッズ

(認定プレート、クリアファイル等)



④ スキルアップ研修会への参加

(認定取得者のみ受講可能・1群)

⑤ 東京地域認定取得者向け研修会・イベントの紹介

(都内近郊の研修会を重点的にご紹介・2群)



⑥ 糖尿病療養指導e-learningツールの提供

⑦ 認定取得者限定イベントへの参加

⑧ 認定取得者のWeb公表(任意)

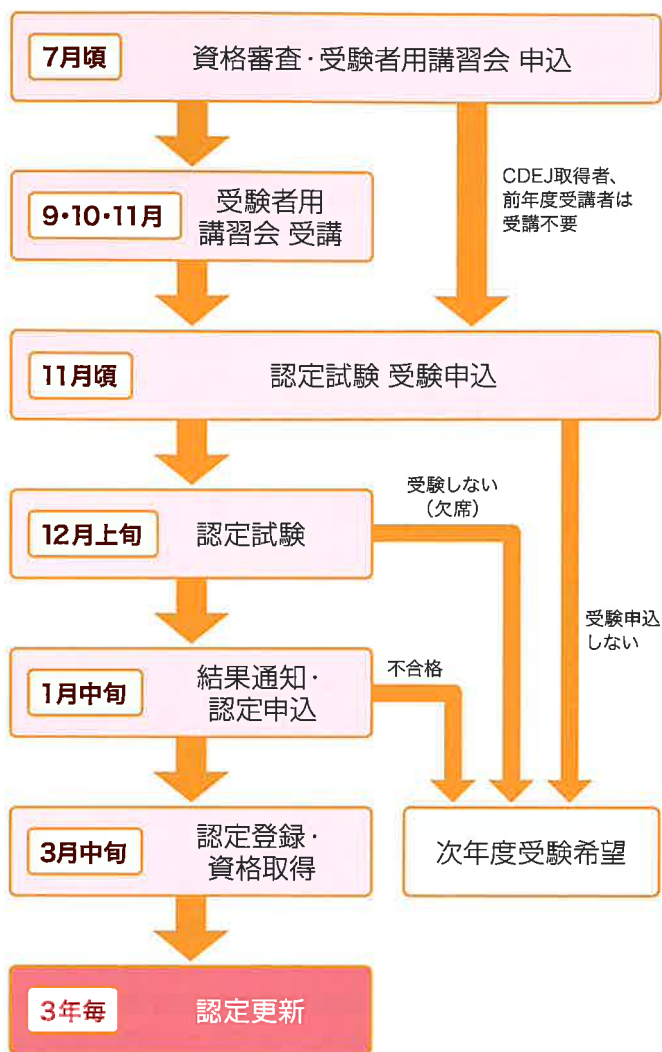
⑨ 認定取得者の所属施設のWeb公表(任意)

⑩ 上記に加えた糖尿病の最新情報ならびに東京地域情報の提供(Web、メール)

<その他>

- ・月刊 糖尿病ライフ さかえの受け取り(東京CDE・CDSの会 特典)
- ・認定取得者用グッズの購入

認定資格取得までの流れ



●詳しい日程についてはホームページでご確認ください。

受験者の声

▶東京CDE・30代・女性・学校勤務・看護師

運動療法、食事療法、薬物療法、その他多岐にわたっての知識が求められるので大変でしたが、全ての知識が繋がって初めて、糖尿病患者さんの生活を支えることができるのだと改めて知り、幅広く、勉強することの意味がわかりました。

また、他職種との連携という意味で、管理栄養士、薬剤師、理学療養士、色々な分野でどのような知識や技術を使って治療にあたるのか、自分の分野外の部分に興味を持ってました。

糖尿病患者さん、またその家族を支援するとき、何が求められるのか、何ができるのか、という多面的な視野を持って、これからさらに知識をつけて一人一人に合った看護を提供していきたいように、努力したいと思いました。そして、初めて認定試験を受験し、合格できたことで、自分の中で、新しい一歩を踏み出すこと、挑戦することは楽しいことだと前向きに捉えられるようになったことが嬉しかったです。

▶東京CDS・60代・女性・クリニック勤務・医療事務

当院は人工透析のクリニックですが、現在、糖尿病を起因とする、糖尿病性腎症の患者さんは全体の約半数を占めています。

中でも糖尿病患者さんに生じる足病変、神経障害で知覚麻痺があり靴擦れ・熱傷などが進行し、潰瘍、壊疽で足指をアンブタされる患者さんを間近で見えています。私自身は医療者ではないですが何か役に立てないだろうかと考え、CDSのことを知り受験しました。今後は他職種との連携を図り、糖尿病に対する知識をさらに深め、進んでいきたいと思っています。

認定試験に関する最新情報は、下記のホームページ・メールマガジンをご覧ください。

糖尿病に詳しい医療職、専門職を認定する
東京糖尿病療養指導士認定機構
<http://cde.tokyo>



QRコード

メールマガジンのご案内

認定資格の受験情報を希望する方へメールマガジンを配信しています。ホームページよりご登録ください。

認定試験の
 受験情報を
 ご希望の方へ
 メールにてご案内致します

後援団体

公益社団法人日本糖尿病協会
 東京都糖尿病協会
 日本糖尿病学会 関東甲信越支部
 一般社団法人東京臨床糖尿病医会
 一般社団法人東京内科医会

公益社団法人東京都看護協会
 公益社団法人東京都薬剤師会
 公益社団法人東京都臨床検査技師会
 公益社団法人東京都理学療法士協会
 公益社団法人東京都栄養士会

公益社団法人東京都介護福祉士会
 公益社団法人東京社会福祉士会
 一般社団法人東京都作業療法士会
 特定非営利活動法人日本健康運動指導士会

※後援団体所属の皆様は受験料が割引となります。詳しくはHPにてご確認ください。
 2019年1月現在

東京糖尿病療養指導士認定機構／一般社団法人東京糖尿病療養指導推進機構

事務局 (株) 創新社内 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11
 Tel.03-5521-2881 Fax.03-5521-2883 e-Mail: office@cde.tokyo

【受験者の方へ】2023年度受験者用講習会及び認定試験のご案内

2023年度の受験者用講習会及び認定試験につきましてご案内致します。

東京糖尿病療養指導士(東京CDE)、東京糖尿病療養支援士(東京CDS)の認定試験を受験いただくためには原則として受験者用講習会を受講いただく必要があります(CDEJ取得者、前年度受講者は受講免除)。

2023年度受験者用講習会の受講をご希望の方は認定機構HPより資格審査のお申し込みをお願いいたします。2023年8月31日(木)が締め切りとなります。

2023年度 受験者用講習会(eラーニング)のご案内

受験者用講習会はeラーニングにより開催をいたします。
eラーニングはインターネットを利用した学習システムです。
インターネット環境さえあればいつでも、どこでも、何度でも、ご自身のペースで受講いただけます。

申込期間: 2023年7月3日(月)~8月31日(木)

受講期間: 2023年9月11日(月)~10月31日(火)

受講費用: 資格審査料 3,000円(税込)

受講料 8,000円(税込)

※受講料にテキスト代は含まれておりません

申込方法: 東京糖尿病療養指導士認定機構ホームページの
資格審査お申込みフォームよりお申込みください



こちらのQRコードより資格審査のお申込みや受験者用講習会の詳細をご覧ください。

2023年度 認定試験のご案内

日程:2023年11月24日(金)~12月8日(金)を予定

認定試験はCBTシステムによる実施を予定しております。
ご自身でお申込みいただいた日程、会場(テストセンター)で認定試験をご受験いただけます。

※詳細は決まり次第ホームページ等でご案内します。

お問い合わせ

東京糖尿病療養指導士認定機構 事務局
〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 第7東洋海事ビル8階 株式会社創新社内
TEL:03-5521-2881 FAX:03-5521-2883 e-Mail:office@cde.tokyo